

仕様書

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
イノベーション推進部

1. 件名

研究開発型スタートアップにおける標準化活動の実態調査・支援

2. 目的

標準化は、新たな技術や優れた製品・サービスを速やかに普及させるためのツールであり、企業が事業戦略を構築する上で欠かせないものである。戦略的な標準の活用は、各種政策文書や民間調査機関のレポート等でも言及されているほか、NEDOにおいても「標準化マネジメントガイドライン」を策定し、標準化の取り組みをプロジェクトマネジメントの一環として位置づけている。

研究開発型スタートアップにおいても標準化活動（例えば、規格の提案や知財との連携戦略の構築等）は、取り扱う技術や知名度の向上、品質・信頼性確保のほか、自社技術の普及・市場の拡大など、成長の源泉として特に重要な取り組みであると考えられる。一方、標準化活動は、技術の公開を伴うほか、各種コストがかかるため、資金力や人的リソースの乏しいスタートアップにおいて十分に行われていない現状があると考えられる。

本調査では、研究開発型スタートアップにおける標準化活動の促進を目的に、スタートアップが関与する標準化活動の現状を調査・分析するとともに、実際にスタートアップに対し標準化活動を支援し、実証調査を行う。得られた課題や結果、方法論を取りまとめ、研究開発型スタートアップに向けた標準化活動のガイドライン案を作成する。

3. 内容

（1）研究開発型スタートアップにおける標準化取り組みの現状調査・分析

国内における研究開発型スタートアップの標準化活動の実態をインターネットの情報等を元に調査・整理する。また、複数のスタートアップに対してアンケートやインタビュー等を通じた調査を行い、研究開発型スタートアップの標準化活動の成功事例・失敗事例の収集・分析を行う。以上の活動から得られた知見をもとに、研究開発型スタートアップにとって効果の高い標準化活動の在り方に係る仮説の構築を行う。

（2）研究開発型スタートアップ支援（実証調査）

（1）で得た結果をもとに、実際に研究開発型スタートアップに対し標準化活動のコンサルティングを実施する。具体的に、標準化活動の支援を希望する研究開発型スタートアップを1社以上見だし、（1）で得た知見のほか、各スタートアップの経営幹部及び関係部門へのヒアリング並びに事業計画等をもとに、標準化活動に係る経営戦略を構築し、提案する。提案後、当該スタートアップに承認された提案内容に基づき経営協力し、成果を上げるよう支援を行うとともに、リスクの分析・評価を行う。以上を通じて、仮説の検証を行い、検討を深める。

なお、対象となるスタートアップの選定の際は、委託者に事前相談し、その指示を仰ぐこと。また、支援に当たっては、企業へのコンサルティングの実務経験を有する者を必須とする。

(3) 成果報告書の作成

(1) ～ (2) で集めた事例や知見を整理し、提言を取りまとめ、成果報告書を作成し、委託者に提出すること。なお、報告書の中に調査結果を踏まえた研究開発型スタートアップに絞り込んだ標準化活動のためのガイドライン案を含めること。

4. 調査期間

NEDO が指定する日から 2022 年 3 月 18 日（金）まで

5. 予算額

1,500 万円以内（税込み）

6. 成果報告書

提出期限：2022 年 3 月 18 日（金）

提出方法：NEDO プロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

7. その他

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

以上